

評価事業名	子どもの安全・防犯対策事業			整理No	7
担当課	学校運営課	評価責任者	学校運営課長 鈴木さよ子	作成者	猪飼敏夫

1. 事業の目的・目標

Do

事業の目的／根拠法令等	各学校(園)が教育目標や教育ビジョンを達成するため、教育内容をより充実したものにする。／学校保健安全法
事業の目標	児童・生徒・園児の安全が確保され、安心して学校(園)が送れるよう、防犯対策を進める。

2. 目標に対する達成状況

達成度指標名 (算定式等指標の説明)	ベースライン (設定年度)	実績			目標値 (目標年度)	目標値に対する現在の達成度	目標設定の考え方
		19年度	20年度	19-20年度の改善率			
スクールガード養成講習会参加校数	22 (19年度)	22	21	-5%	23 (22年度)	91%	小学校全23校においてスクールガードを養成する。
スクールガードリーダーによる巡回指導数	23 (19年度)	8	3	-63%	23 (25年度)	13%	小学校全23校において、スクールガードリーダーによる巡回指導を実施する。

3. 事業概要

事業内容	学校の通学路の安全を確保するため、スクールガード養成講座の実施、スクールガードリーダーによる巡回指導を行う。また、登下校時の安全確保を図るため、新1年生児童に防犯ベルを貸与する。		
運営形態	1. 直営	委託の内容	
20年度の取り組み	平成20年10月末にスクールガード養成講習会を開催し、23校中21校で計44名が参加した。また、スクールガードリーダーによる巡回指導を3校で実施し、パトロールや見守り活動のポイントや注意点について理解を深めた。		関連する部署・外部団体 危機管理担当課、治安対策担当課 小学校PTA 警察署

4. 主な取り組み内容

項目	18年度	19年度	20年度	事業をとりまく外部環境の変化
スクールガード養成講習会参加人数 (年1回開催)	55人	41人	44人	・各地で学校の安全を脅かす事件が発生しているため、生命の安全を十分に確保し、安全に学校生活を送れる防犯対策が求められている。 ・なお、21年度新入生に貸与する防犯ベルについては、団体からの寄付により実施した。
スクールガードリーダー人数	2人	2人	2人	
スクールガードリーダーによる巡回指導参加延べ人数	48人	70人	33人	
防犯ベルの貸与	1,450個	1,400個	1,400個	
子ども安全連絡網	3校	3校	4校	

(単位:千円)

構成事務事業・活動名		実績				計画		
		平成18年度	平成19年度	伸び率	平成20年度	伸び率	平成21年度	伸び率
直接事業費	学校安全安心事業	389	807	52%	133	-507%	952	86%
直接事業費 計		389	807	52%	133	-507%	952	86%
人件費	正規(人数)	4,980	2,520	-98%	1,700	-48%	1,680	-1%
	非常勤等(人数)	0.6	0.3	-100%	0.2	-50%	0.2	0%
人件費 計		4,980	2,520	-98%	1,700	-48%	1,680	-1%
事業費 計		5,369	3,327	-61%	1,833	-82%	2,632	30%
財源内訳	国・都支出金	25	26	4%	0	-100%	24	100%
	受益者負担	0	0		0		0	
	地方債	0	0		0		0	
	その他	0	0		0		0	
一般財源		5,344	3,301	-62%	1,833	-80%	2,608	30%

5. 現状の評価

Check

評価の視点	ランク	現在までの到達点
妥当性 (目的・目標との整合性・目標値の適切性)	b	防犯対策として目標と活動内容は整合性がとれていると考えているが、目標の指標として満足度の把握等が必要ではないかと思われる。
サービス水準・有効性 (顧客の視点)	a	地域の目で、地元の子どもたちを危険から守るという意識を強く持つことができ、常に小中学校に通う児童・生徒等に関心を持ってもらうという効果がある。また、巡回が犯罪抑止に大きな効果を上げていると考えられる。
効率性・業務改善 (財務や内部プロセスの視点)	b	費用対効果が高い事業と考えられる。これまで事業の取り組み時期が遅かったということもあり、巡回指導の要望に応えられなかったこともあったが、今後全学区域で実施できるよう改善する必要がある。
安定性 (内部プロセス、人材育成ほか)	b	これまで学校安全ボランティア(スクールガード)を多く育成してきたが、将来的にはその中からスクールガードリーダーを輩出できるよう取り組みを強化する必要がある。

6. 目標達成に向けた今後の取り組み

Action

	内容
重点・新規・見直し事項 * 目標達成のために、今後取り組みたいこと	PTAとの連携を深める。スクールガード講習会の開催時期を早めるとともに、スクールガードによる巡回指導回数を増やすための取り組みを強化する。

7. 総合評価(管理職が記入してください)

Action-Plan

現状の評価	A 大変良い B 良い C 普通 D 悪い	C
今後の事業の注力度	A 拡充 B 継続 C 縮小 D 廃止又は根本的な見直し	A

<上記判断の理由と今後の方針>

学校保健法が学校保健安全法に改正され、学校における安全対策が規定された。
今後、PTAへの連携を強化し、子どもの安全確保のための取り組みを全学校で行うとともに、現在各校1台しかない防犯カメラなどの増設など、ハード面での整備も進めていく必要がある。